

学校支援を積極的に進める

「笑顔プラス」の北っ子と学校を支えるPTA活動

岩倉市立岩倉北小学校PTA

1 はじめに

本校は児童数 687 人、学級数 26（うち特別支援学級 5）の中規模校で、近年都市化が進んでいる岩倉市の中心部に位置している。地域の教育への関心は高く、家庭・地域が協力して学校の教育活動を支援している。



【校舎と新体育館】

本校では「笑顔プラス」を合言葉としている。この言葉には、他者との関係性を豊かなものにしていく象徴的な意味が込められており、あらゆる場面で活用され、子どもたちの中に根付いたものとなっている。今年度 4 月から使用している新体育館や新図書館も、子どもたちから募集した「スマイルアリーナ」「にこにこ図書館」と名付けられ、親しみをもって活動に利用されている。

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

本校PTAは、以前からあいさつ運動、登下校の見守り、各種行事支援、アルミ缶回収活動など、子どもたちの安心・安全・楽しい学校を目指して活動している。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、この2年は多くの活動が制限され、計画通りに進めることができなかった。こうした状況を踏まえ、コロナ禍で活動が制限される中でも、保護者同士の関係を築き、地域や保護者に理解と協力を得ながら、「笑顔プラス」の北っ子と学校を支える活動を進めることとした。

(2) PTAの組織と主な活動

総 会	役員 常任 委員会	委員 総 会	各 委 員 会	広報	・学校HP記事作成 ・「先生紹介」発行	・あいさつ運動・アルミ 缶回収 ・かわら版作成 ・クールステーション ・教育講演会 ・運動会運営補助 ・岩倉中学校区地区懇 談会
				文化	・文化講座・学校HP記事作成 ・学校保健委員会・救急法講習会	
				生活	・通学路点検 ・こども110番	
				厚生	・ベルマーク集計発送 ・インクカートリッジ集計発送	

3 実践活動の概要

(1) あいさつ運動・アルミ缶回収

毎月15日を基本とし、子どもたちの登校時間に、あいさつ運動とアルミ缶回収を合わせた活動を年間9回行っている。回収日前日には、保護者メールを配信して協力を呼びかけたり、5月の新聞の折り込みに回収日を掲載してもらったりして、保護者や地域に周知している。また、校内にはいつでも回収ができるように、各校舎の出入口付近に回収ボックスを常設している。



【アルミ缶回収・あいさつ運動】

15日の回収日はもちろんのこと、授業参観など保護者来校時のアルミ缶持参や地域の方の持ち込みによる協力により、多くのアルミ缶を回収している。

収益金は子どもたちの学習活動等に役立つ物品の購入にあて、3月の朝会でボランティア委員会の児童とともに全校に報告している。

(2) 学校ホームページ記事掲載

広報委員会では、以前からPTA新聞「いわきた」を年3回発行してきた。しかし、コロナ禍による活動の制限、働き方改革の観点から「いわきた」の発行を見直し、学校・学年行事、授業の様子等をタイムリーにホームページに記事掲載することとした。これにより、PTA委員も自分の都合に合わせて取材活動ができるようになると同時に、これまでの新聞では伝えることができなかった日常生活や学年の取組等も伝えられるようになった。また、日常で学校に足を運ぶ機会が増え、子どもたちの様子がよく分かるようになった。さらに、文化委員会も協力することで、多くの記事をPTAとして掲載することができた。



【広報委員会による記事掲載】

(3) 北小クールステーション設置

近年の異常気象により、登下校中に熱中症や急な雷雨が心配されるようになった。そこで、子どもたちが大人の助けを必要とするときに、すぐに助けを求めることができる場所として「北小クールステーション」を設置した。これは、令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業に伴い夏季休業中に登校日が設けられ、登下校におけ

る心配が増えたことが始まりである。その後、毎年地域の店や事業所など、子どもたちのなじみ深い場所に依頼し、クールステーションを設置している。実際に下校途中に気分が悪くなった児童が助けを求めたこともあり、子どもたちにとっても安心・安全な場所となっている。令和4年度は、広報紙「かわらばん」による紹介とともに、広報委員会を中心にホームページにも設置箇所を掲載し、周知を図った。



【クールステーション設置のお知らせ】

(4) スクールガード・通学路点検・こども110番の家

子どもたちの安全を見守るため、PTA役員・委員・継続会員による「スクールガード活動」を行っている。活動日を5・15・25日の「5」がつく日とし、黄色のジャンパーを着て子どもたちの登下校の付き添いをしたり、通学路の危険箇所を立ったりするなど、各々の活動できる時間に合わせて、子どもたちを見守る活動を続けている。5月末にはPTA広報誌「かわらばん」を通して、通学路点検を依頼し、安全や防犯上、気になる場所があれば校外パトロール診断書に記入して報告してもらっている。その結果を生活委員会が集約し、要望書という形で市役所に提出することで通学路の改善につながっている。また、こども110番の家のお礼（手紙とゴミ袋等を配付）・看板確認を毎年行うことで、継続した安全確保となっている。

(5) PTA主催講演会

本校PTAは、神奈川県にある久里浜医療センターのネット・ゲーム依存治療チームから心理療法士である北湯口孝氏を講師に招き、「今どきうちの子 みんなの子ネット社会を生き抜く知恵」と題して講演会を行った。家庭でのゲームや動画、SNS等の悩みから、子どもとコミュニケーションをしっかりととり、楽しい時間を共に過ごすことが、今後ネット依存に陥りにくい子どもを育てる上で重要であることを学んだ。



【PTA主催講演会】

・ネット依存についての話でしたが、家庭内の子供との関わりや家族関係について自分のことを見直すよい機会となりました。ゲームやスマホ以外の何か子供が一生懸命になれること、好きなことを見つける手助けを親として経験させてあげたいと深く思いました。
 ・我が家でも日常生活の一部に動画やゲームをする時間が組み込まれているので、子供が成長していくにつれて、依存にならないように現実の世界でも「楽しみ」を見つけられる機会を与えていきたいと思いました。考える機会をいただけたことに感謝します。

(6) 学校保健委員会・救急法講習会

7月と11月に開催される学校保健委員会に、PTA委員が毎年参加し、会の運営とともに、子どもたちの健康な生活について意見交換をしながら、家庭での健康教育の重要性の意識を高めている。令和3年度の11月は、愛知東邦大学人間健康学部より吉村道孝氏を講師に招き、「ぐっすり睡眠、毎日元気！眠りの達人になろう」をテーマに睡眠について学ぶ機会を設けた。コロナ禍で出席者をPTA役員・文化委員に限定しての開催となったが、5年生児童とともによりよい睡眠について考える機会となった。令和4年度は6月に救急法講習会を開催し、命を助ける行動について学んだ。また11月には、愛知健康づくり推進事業弾による出前授業を企画しており、PTAと学校が一体となって子どもたちの健康教育に力を入れている。



【グループごとの話し合い】

(7) ベルマーク・インクカートリッジ回収活動

本校では、5、6年生のボランティア委員会とPTAが協力して、ベルマークの収集・集計・発送作業を行っている。全校児童から集まったベルマークを委員会児童が協賛会社ごとに仕分けし、PTAの厚生委員会が点数を数えてベルマーク事務局に発送している。また、校内にはインクカートリッジの回収箱を設置し、いつでも回収できるようにしている。PTA広報誌「かわらばん」を通じて、ウェブベルマークの登録も呼びかけており、令和3年度はウェブベルマークの集計点数が全国2位となるほど、保護者に協力をいただいている。こうして得た収益金で、子どもたちの学校生活に役立つ備品を購入することができた。



【放送朝会でPTAの方と購入物の紹介】

4 おわりに

子どもたちの健康・安全・楽しい学校を築くためには、学校・家庭・地域が協力して指導に当たることが重要である。今後も相互理解を深め、連携を深めるPTA活動を推進し、「笑顔プラス」を合い言葉に子どもたちと学校づくりに貢献していきたい。